

企画趣旨

朝鮮戦争終結への期待、中国の影響力の拡大、東南アジアにおける開発競争のさらなる加速など、私たちを取り巻く国際秩序は大きな再編の時期を迎えている。それに向き合いつつ、未来社会を模索するには、私たちの社会空間がいかにか築かれてきたのかという歴史的な理解が欠かせない。

本セミナーシリーズでは書評と研究発表による構成をとりながら、アジアの国や地域の具体的な歴史を、都市と建築を通じて読み解く。建築や都市には設計者たちの理想や願いが必ず宿る。それを読み解きつつ、省察を加えるとき、それらは未来社会を構築するための貴重な文化遺産ともなるだろう。建築史・都市史の専門研究を通して、アジアの来歴を共に議論・共有したい。

2018年6月29日（金）

13:00 ~ 17:30

（無料・どなたでも参加出来ます）

主催：金沢大学 新学術創成研究機構 文化遺産国際協力ネットワークユニット

共催：金沢大学国際文化資源学研究中心

科研費・基盤研究 (B)「朝鮮半島の冷戦下都市復興における東西建設援助の建築史的研究」(代表・谷川竜一)

同・基盤研究 (C)「データベースをつうじた地域と科学の知の統合による気候応答型居住環境の創出」(代表・山田協太)

連絡先： tryuichi@staff.kanazawa-u.ac.jp (谷川)

第1部：書評会 13:00 ~ 14:30

金沢大学 人間社会学域 第1 講義棟 203 教室 (第2部と教室が異なります)

水田丞著『幕末明治初期の洋式産業施設とグラバー商会 —19世紀の国際社会における技術移転とイギリス商人をめぐる建築史的考察』
(九州大学出版会、2017年)を読む

評者：山田協太 (京都大学東南アジア地域研究研究所 助教)

リプライ：水田丞 (広島大学 助教)

第2部：公開セミナー 15:00~17:30

金沢大学 人間社会学域 第1 講義棟 206 教室 (第1部と教室が異なります)

発表1 近現代インドネシア都市空間と南シナ海ネットワーク
林憲吾 (東京大学生産技術研究所 講師)

発表2 1950年代の平壤再建と日本植民地支配 / 冷戦
谷川竜一 (金沢大学新学術創成研究機構 助教)

総合討議

第1部、第2部司会：谷川竜一